

卷末資料

カリキュラムに海外ボランティア・インターシップを組み込んだ教育プログラム例一覧

この一覧は、あくまでもインターネット等により確認をできた教育プログラムについての概要であり、ここに掲載されていない教育プログラムが各大学においてさまざまに展開されていると思われたいを、ご了承ください。

大学名	開設学部(学科)年次	授業科目名	授業目的	授業内容
【国立】 群馬大学	医学部保健学科全学年	国際・地域ボランティア 研修	国外及び国内において、ボランティア活動を体験する。	国外及び国内において、約2週間、地域病院施設など保健医療・福祉分野におけるボランティア活動に参加する。
			東南アジアのNP0プログラムに参加し、国際ボランティア活動に必要な実務能力を開発する。そこで体験を通して、授業で学んだ理念、理論の理解を深める。さらに英語や現地語の学習から、異文化理解とコミュニケーション能力の重要性を認識する。	経済的に恵まれない家庭環境にある児童のための教育施設や生活支援施設等でのボランティア活動。日本語教室、絵画教室、食事の準備等日常生活の活動や体育館等の施設作りに参加。地域の高校等訪問及び高校生との交流。
【私立】 札幌国際大学	人文学部1年次	国際フィールドワーク	教室で学んだ知識を社会実践に活用する。	国内、国外で活動を行っている組織、政府機関、NGOでの活動経験を積む。最低30日間、フルタイムでの実践期間を必要とする。準備のための文献購読計画などを作成し、活動期間終了後は体験報告書を提出する。
			国際サービズ・ラーニング	
国際基督教大学	全学部前年次			
早稲田大学	オープン教育センター	カンボジアの文化遺産の保全と村づくりへの国際協力実習	クメール美術史・建築史、アンコール遺跡などの保存修復史と現在の取り組み、カンボジアにおける文化政策などについて学ぶことで、文化遺産を生かした地域やまちづくりのプロセスにおいて、自分で何か役立ちたいと考えるかを考察。そして、実行にうつすことで自分自身の考え方の基礎を構築することをねらいとする。	4月と6月に1度ずつ、早稲田大学において実習計画のガイダンスとディスカッションを行った後、9月3日から9月16日の14日間、プノンペン市プノンペン国立博物館とクメール美術の見学実習、コンポン・トム市、サンボア・プレイ・クック遺跡および周辺の村やシェムリアップ市アンコール遺跡の見学と実習

近畿大学	文芸学部（文化学科） 学年次、英語多文化コ ミュニケーション2～ 4年時	国際ボランティア論A	タイのクローン・スラムで40年にわたって子どもたちの教育支援を続けているドゥアン・プラティア活動の歩みと現状、そしてこれからの課題と展望を探るの目的とする。夏休みに文芸学部が行うインターンシップ「タイの『生き直しの学校』」を訪ねる旅」と連動させている。	タイの子どもたちも、タイのボランティア活動の歩みと現状、そしてこれからの課題と展望を探るの目的とする。夏休みに文芸学部が行うインターンシップ「タイの『生き直しの学校』」を訪ねる旅」と連動させている。	12日間の海外体験学習プログラム。
神戸国際大学	経済学部1～3年次	ボランティア実習／サー ビス・ラーニング	フィリピンの人々との交流を通じて、フィリピンの社会的現実から学ぶことで、治安、人権、少数民族、環境保健衛生、女性や子供のエンパワーメントへの問題意識を啓発するとともに建学の精神を学びあうことを目的とする。	フィリピンの人々との交流を通じて、フィリピンの社会的現実から学ぶことで、治安、人権、少数民族、環境保健衛生、女性や子供のエンパワーメントへの問題意識を啓発するとともに建学の精神を学びあうことを目的とする。	
ノーートルダム 清心女子	全学部全年次	キリスト教XV	まず誰かのために何かを実際にやってみることでボランティアとは何か考えていき、自己のボランティア観の構築を到達目標とする。「マレーシア奉仕団」として、マレーシア・イボ市の障害者施設で障害者と共に生活し、生きることに素晴らしさや大切さを学びあう。	マレーシアの社会福祉施設で15日間の実習（ボランティア活動）。	
活水女子大学	文学部1年次	海外ボランティア	海外でのボランティア活動を通じて、現地の文化に触れるだけでなく、世界各国から来た同世代に対する理解も育む。非英語圏での活動であっても、キャンパス内での共通言語力は基本的に英語であるため、英語コミュニケーション能力の向上にもつながる。	国際教育交換協会による、国際ボランティアプロジェクト(IVP)、及び豪エココボランティア(CVA)への参加。事前説明会、オリエンテーション、帰国報告会、時期説明会での体験報告等、帰国レポート作成。	
立命館アジア 太平洋大学	アジア太平洋学部2年次 ～、アジア太平洋マ ジメント学部2年次～	ボランティア研究	海外でのボランティア活動を通じてボランティアの意義や目的を学ぶ。それと同時に、国際的な視野を広げ、その後の学習などに活かす。国際教育交換協議会(CIEE)のプログラムのみ単位認定の対象。ガイダンス等にも参加。	事前・事後授業、実習、事前・事後提出書類（レポート、実習日誌）の提出。事前授業では、ボランティア活動に関する意義や目的などについて考え、活動参加前に獲得目標を明確にする。実習中は、活動の記録日誌をつけることを課す。事後授業では、実際の体験を振り返りをさせる事で、経験の振り返りと定着を図る。	

【短期大学】 南山短期大学	英語科1～2年次	国際協力フィールドワー クB	国際協力における実務経験を生徒に与えること。	主催団体であるCIEEとの連携の下、生徒がボランティア活動国を選ぶ。3週間の国際ボランティアを通じて、異文化について考察し、いかにして世界各国からの参加者と問題解決に向けて取り組むかを考える。	
	英語科1年次	国際協力フィールドワー クC	フィリピン・セブ島におけるボランティア・フィールドワーク・プログラム (Cebu Volunteer Fieldwork Programme (Philippines))	3週間、異文化という状況下における現地大学生とのボランティア活動体験。また、現地フィールドワークやホームステイを通じて英語コミュニケーション能力の向上や現地語や現地文化の学習を図る。	

大学院	プログラム名	大学院の種類	対象学生	内容	URL
大阪大学大学院情報科学研究科	海外インタナショナルシニップ	総合大学 (国立)	(情報科学研究科) 在籍学生	<ul style="list-style-type: none"> 情報科学分野または他分野との融合科学分野で国際的な実績を有する大学・研究機関へ渡航し、渡航先の研究開発グループと連携し、本研究科と相手先をあらかじめ設定する当該分野における共同研究開発・調査課題に従事 短期 (4週間程度) 若干名、長期 (8週間程度) 若干名 対象授業科目: 海外インタナショナルシニップM(B1), M(B2), D(B1), D(B2) 夏期 (8, 9月) と冬期 (1, 2月)、各2~3週間程度 国内外の政府機関・メディア・NPOなどさまざまな分野では、科学・技術などのようにとらえ、伝えるための取り組みがなされているのかについて、本インタナショナルシニップにおいて実体験することで、研究者としてのスタンスを社会的に再確認すると共に、大学以外の世界の社会性を身につけることを目的 前期課程 (M)、後期課程 (D) とも、海外でのインタナショナルシニップからフィールドワークのいずれかへの参加が修得を論文提出の要件 国際機関等に就業した際に求められる「適切なコミュニケーション・チームワーク、リーダーシップ等のいわゆる総合的なマネジメント能力」の向上 国内外の国際協力NGOと連携した「インタナショナルシニップ」を科目として選択可能 	http://prius.ist.osaka-u.ac.jp/program/2008intern/index.html
東京工業大学大学院	グローバル人材のためのサイエンスコミュニケーション-海外インタナショナルシニップ-	工学系単科大学 (国立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> 海外の国際機関やNGOでのインタナショナルシニップ及びプログラム参加をフィールドスタディとして認定 	http://www.iri.titech.ac.jp/literacy/com/com.html
大阪女学院大学大学院21世紀国際共生研究科	海外インタナショナルシニップ・フィールドワーク	外国語系単科大学 (私立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> 海外でのインタナショナルシニップに参加が修得を論文提出の要件 国際機関等に就業した際に求められる「適切なコミュニケーション・チームワーク、リーダーシップ等のいわゆる総合的なマネジメント能力」の向上 	http://www.wilmina.ac.jp/oic/grad/characteristic
吉備国際大学大学院連合国際協力研究科 (通信制)	海外インタナショナルシニップ	総合大学 (私立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> 海外の国際機関やNGOでのインタナショナルシニップ及びプログラム参加をフィールドスタディとして認定 	http://kiui.jp/pc/tsushin/kokusai/index.html
恵泉女学園大学大学院	海外フィールドスタディ	総合大学 (私立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> 海外の国際機関やNGOでのインタナショナルシニップ及びプログラム参加をフィールドスタディとして認定 	
政策研究大学院大学FASID/GRIPS修士課程国際開発プログラム	海外インタナショナルシニップ		大学院生	<ul style="list-style-type: none"> 同大学院MAINS (アジアNGO学) サママー・キャンプへの学生参加によってアジアのNGO活動家と交流する機会を提供 修士課程修了要件の40単位以上を取得した学生は、10月から最長6ヶ月間、海外にてインタナショナルシニップを実施 国際機関、内外の援助実施機関、研究機関などにおけるインタナショナルシニップの機会が得られるように支援 	http://www.fasid.or.jp/daiakuin/fa_gr/curriculum.html#3
東洋英和女学院大学国際協力研究科	「国際協力インタナショナルシニップ」・「国際協力フィールドワーク」の科目履修	(私立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> 「国際協力インタナショナルシニップ」は、外部の団体の提供している信頼できる実習用の研修プログラムに参加し、その参加事実と研修報告の提供をもって単位として認定 「国際協力フィールドワーク」は、自分の研究テーマにそって、現地で活動したことを他に認定 	http://www.toyoeiwa.ac.jp/daiakuin/index.html
日本福祉大学大学院国際社会開発研究科 (通信制)	スクリーニング科目及び自主的フィールドワークの単位認定	福祉系単科大学 (私立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> 「地域開発研究科目 (スクリーニング科目)」では、世界4カ国 (日本、フィリピン、インド、ケニア) の基幹大学の教員を中心とした指導のもと、6日間の現地の開発現場でのフィールドワークと英語による講義を合宿形式で実施し、単位を認定 大学院生が研究テーマのために自主的に行ったフィールドワークをスクリーニング科目として4単位を上限に評価・認定 	http://development-school.jp/d_school/index.html

文教大学大学院 国際協力学研究科	調査研究活動への助成	総合大学 (私立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員と学生の滞在費および渡航費を助成 (上限20万円) 	http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/gs-inter/
法政大学大学院 政治学専攻	「グローバル・インターナショナル」 「海外フィールドワークプログラム」	総合大学 (私立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目を履修単位として認定 	http://www.hosei.ac.jp/gs/kenkyu/sei_iigaku/kokusai/
立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科	「海外留学奨学金制度」	総合大学 (私立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・厳正な審査に基づいて、本専攻修士1年生の留学希望者の中から優秀な者を1名選抜し、最高300万円の留学奨学金を支給する制度 	http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/CSR_internship/index.htm
龍谷大学大学院 アジア・アフリカ総合研究プログラム	CSRインタナショナルプログラム	総合大学 (私立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・同研究科、パートナー企業、そしてNPO/NGO等非営利組織という産学民の3者が協同して実施 ・正規科目として実施 	http://www.ryukoku.ac.jp/aa/index.php
筑波大学大学院 人文社会科学研究科	調査補助金給付制度	総合大学 (国立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政府と世界銀行が共同で行う経済・公共政策の修士課程 コース ・開発政策の企画・立案・履行のスキルを養成 	http://dbipe.tsukuba.ac.jp/wbgsp/index.php
お茶の水大学大学院 人間文化創成科学研究科	世界銀行プログラム	総合大学 (国立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア工科大学院大学 (Asian Institute of Technology) との大学間学術交流協定により「ジェンダーと開発」領域にかかわるワークショップを実施 	http://devgen.igs.ocha.ac.jp/index.html
長崎大学大学院 国際健康開発研究科	AITワークショップ	総合大学 (国立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・途上国におけるモデル的な健康改善対策あるいは関連研究プロジェクト地域 (感染症、母子保健、地域保健医療システム強化など) の視察を通して洞察を深め、基礎知識の実践的重要性についての理解度と実践への意欲を高めることを目的として、1年次の夏季に開発途上国において約1か月のフィールド研修を実施 	http://www.tm.nagasaku-u.ac.jp/mhb/index.html
東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 環境社会医歯学系 (国際環境衛生虫学分野)	短期フィールド研修	総合大学 (国立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・本学海外拠点フィールド及び本学と連携ネットワークを持つ国際的健康科学研究所、NGO等においてこれまでに学んだ知識を実践で生かしながら実務能力を身につけることを目的として、2年次に開発途上国において約8ヶ月のインターンシップを実施 ・さらに、課題研究のためのデータ収集を実施 	
東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 環境社会医歯学系 (国際環境衛生虫学分野)	長期インターンシップ	医歯学系単科大学 (国立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシア、マナド市にある国立Sam Ratulangi大学医学部で2002年より寄生虫学教室を中心に日本人を対象とした1週間の「熱帯フィールド研修」を開講 	http://www.tmd.ac.jp/grad/sbh/index.html
日本大学大学院 国際関係学研究科	熱帯フィールド研修	総合大学 (私立)	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣期間は1か年とし、奨学金年額180万円を出發時に給付 ・派遣奨学生は、学修・研究の成果を報告書にまとめ、帰国後2か月以内に研究科長を経て、大学に提出 ・派遣奨学生が海外の大学院で履修した単位は、10単位を超えない範囲で修了に必要な単位として認定 	http://www.ir.nihon-u.ac.jp/gs/scholarship.html